

2009年4月～9月の主なトピックをご紹介します。

BtoB“オーダーLED照明”採用実績レポート

IDECは、全館LED照明を実現したIDEC SALES OFFICEの竣工(2008年3月)をきっかけに、株式会社ローソン様にLED照明を採用いただくなど、数々の納入実績を積み重ねています。2009年3月には新たに、個々のお客さまに最適な照明をデザインするB to B“オーダーLED照明”ビジネスを開始しました。

新ビジネススタート後、5月に大手ITサービス会社であるTIS株式会社様の次世代型データセンター『心斎橋gDC』(大阪市西区)において、サーバールーム全域に、システム天井用のLED照明を採用いただきました。



【TIS株式会社】「心斎橋gDC」サーバールーム

また、7月には、ソニービル(東京都中央区)のエントランスホールにおけるLED照明制御システムを納入しています。コントローラと調光機能付きの電源を活用することによって、明るい外光が入る昼間は照明の明るさを落とし、逆に外光が入らない夕方には明るくするという自動調光制御を行っています。



【ソニービル】LED照明制御システム
※LED照明は、他社製品をご採用いただいています。

IDECではこのように、LED照明とコントローラ・電源などの制御システムを同時に提供することにより、用途に応じた照明空間全体の最適化を図り、省エネルギーに貢献しています。

ワールドビジネスサテライトで 当社の国際規格創成活動が紹介

『ワールドビジネスサテライト』(テレビ東京、6月10日放送)の「知られざる“国際標準”」特集で、当社の国際規格創成活動が紹介されました。同特集では、世界における日本の工業力を確たるものとするためには、その技術を世界標準にしていくことが必要不可欠であると問題提起されています。

その国際標準づくりの成功例として、当社が1997年に開発し、経済産業省や関連団体のサポートを受け、2003年にIEC(国際電気標準会議)に提案したイネーブルスイッチに関する規格が、2006年に国際規格IEC60947-5-8として発行された例が紹介されました。



次世代ロボット知能化プロジェクトの成果報告

IDECは、経済産業省が策定したロボット政策の一環であるNEDO(新エネルギー・産業技術総合開発機構)の委託研究事業:「次世代ロボット知能化技術開発プロジェクト」(2007～2011年度)の作業知能(生産分野)の研究開発を受託しており、その中間成果として、画像処理を利用したロボットによるセル生産システムを開発しました。

これは、2005年に第1回『ものづくり日本大賞・優秀賞』を受賞したIDEC独自の「ロボット制御セル生産システム」をさらに進化させ、カメラおよび画像処理システムによって、人間の視覚にあたる機能を追加したものです。

この視覚機能の搭載により、ロボットに動作を教示するティーチング作業の短縮化を実現するとともに、ロボットが組立作業を行う前に、部品不良や位置ずれを検知し、エラーを事前に回避することが可能になりました。さらに、たとえエラーが発生した場合でも、人手を介さずに自動復帰します。

また、現在はロボットメーカー間で制御ソフトの仕様が異なるため、汎用性に欠けといった課題がありますが、今回の開発では、ソフトの内部構造を工夫し、基本コマンド(命令)で異なるロボットを動作できるように、ソフトウェアの再利用性を高めています。

今後、安定性などを検証の上、2011年度の実用化を目指していきます。



画像処理機能を搭載した
新ロボット制御セル生産システム

新商品 ニュース EB3N形セーフティリレーバリア 世界初!爆発危険場所での機械安全を実現

IDECは、可燃性の物質を取り扱う工場などの爆発危険場所での防爆安全と機械安全を同時に実現したセーフティリレーバリアを発売しました。

リレーバリアとは、危険場所にある押ボタンスイッチなどのON/OFF信号を非危険場所へ中継させる本質安全防爆構造の接点信号変換器です。

従来の防爆安全に適合した製品群に加え、ISO規格に基づいた機械安全にも適合したEB3N形は、防爆安全対応機器と機械安全対応機器を開発・販売しているIDECだからこそ提供できる製品です。

